

あきた県議会 だより

令和6年7月発行

No.188

全戸配布広報紙

年4回発行



南極公園と白瀬南極探検隊記念館
(にかほ市黒川)

白瀬 蘆花は、明治時代の終わりに、日本人で初めて南極を探検した白瀬南極探検隊の隊長。
(撮影者 にかほ市地域おこし協力隊 細見竜平)

Topics

今号のトピックス

- ・ 請願、陳情の電子メールによる提出が可能になりました
- ・ 「県議会への意見」を募集します

一般質問

一般質問



さとうのぶき
佐藤信喜議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 能代市山本郡

MOVIE

録画
映像



農林水産業の未来 －物価高騰と価格転嫁－

Q 農産物は市場価格に左右され、賃金向上や物価高騰分を価格転嫁することが難しい。このままでは離農者が増加し、食糧供給基地を自負する本県が、安全・安心な農作物を提供できなくなるおそれがある。農業者にしっかりと価格転嫁が図られる取り組みを展開すべきではないか。

A (知事) 国に対し、生産から流通、加工、販売までの各段階におけるコストを踏まえ、適正な価格形成を実現するための環境整備を図るよう要望した。

引き続き、国の動向を注視し、農業者がコスト意識を持ちながら、商品に見合う対価で自ら販売する取り組みをサポートしていく。

再生可能エネルギーと新エネルギー －水素社会実現に向けた検討状況－

Q 再生可能エネルギーの導入拡大を契機に、人口減少と高齢化に対応しながら、持続可能な地域社会と産業の発展を目指すことが求められており、JAXAと連携することにより実現は可能と考える。水素社会の実現を、現段階でどのように検討しているか。

A (知事) 水素事業は、現時点ではコスト低減、インフラ整備、安全性の確保などの課題があるが、JAXAとの研修会を立ち上げるなど、水素関連産業に関心のある県内企業との対話を進めつつ、メタネーション(P3①)やグリーン水素の活用等を視野に入れながら、取り組んでいく。

一般質問



たかはしこう
高橋豪議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 仙北市

MOVIE

録画
映像



台湾便を契機とした観光振興 －運航継続に向けた今後の取組等－

Q 台湾便の運航期間の延長や増便、運航継続に向け、今後どのような取り組みを進めるのか。また、県民の利用拡大に向けてどのように展開していくのか。

A (観光文化スポーツ部長) 運航が決まっていない令和6年11月以降の継続に向け、航空会社等と協議を進めている。旅行会社と一体となり現地で売り込みを行い、外国人旅行者の安定的な確保に努める。

あわせて、台湾観光庁や市町村などと協力し、県民に台湾の魅力を周知していくほか、団体の交流活動への支援を積極的に行い、本県側からの需要をさらに拡大し、将来的な増便や定期便化を目指していく。

秋田新幹線新仙岩トンネルの整備 －計画実現に向けた意志表示－

Q 山形新幹線の「米沢トンネル」整備に遅れを取ることがないように、本県でも「新仙岩トンネル」整備に向けた基金を造成するなど、計画実現に向けた意志表示をさらに強く打ち出すべきではないか。

A (知事) 新仙岩トンネルは、米沢トンネルに先駆け、事業費の再算出が進められており、その報告等を見ながら基金造成の必要性などを検討する。

今後、JR東日本等との連携協定を軸に、ミニ新幹線区間の利用促進を図るなど、未来志向の取り組みを国などへアピールしながら、整備に向けた機運を一層高めていく。

農業人材の確保に向けた支援

Q 他県では、移住就農者に一定の条件で住居支援を行っている。本県でも同様の取り組みができないか。また、ミドル就農者経営確立支援事業（P3②）の対象年齢の上限を拡充し、新たな農業人材の確保につなげるべきではないか。

A （農林水産部長）移住者には支援金の支給などのほか、独立経営に取り組む新規就農者への支援も行っている。

ミドル就農者への支援制度は、就農時の資金需要が小さいという分析に基づいたものである。

就農前の技術研修から就農後のフォローアップまできめ細かくサポートし、農業人材の確保を図っていく。

消防の広域連携

Q 市町村消防の広域化は、管理運営や各消防本部の指令システムを共同運用できるなど、財政上の利点もある。広域化をどのように進めていくのか。他県に遅れることなく、スピード感を持って推進してほしい。

A （危機管理監）男鹿地区、湖東地区では両消防本部の統合に向けた機運が高まり、令和6年4月に準備事務局が設置されており、県内でも広域化に向けた取り組みが始まっている。県では、新たな推進計画の策定に向けて検討会を設置し、全県一区の広域化を目指している。まずは、市町村にとって設備の更新や維持管理費の負担が大きい消防指令システムの共同運用に関して合意形成を図っていく。

一般質問



やまがたけんじ
山形健二 議員

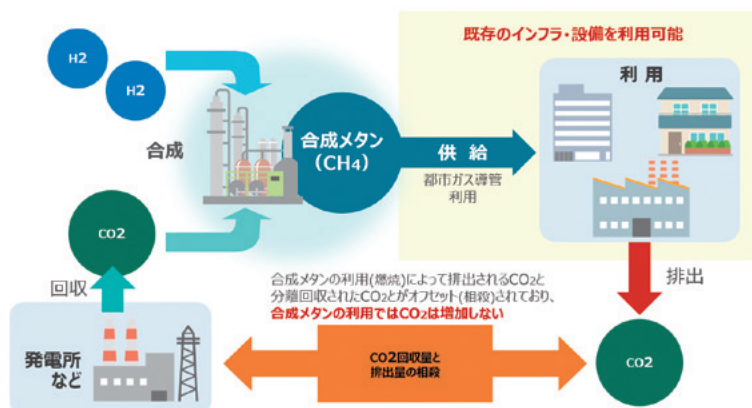
[会 派] みらい
[選挙区] 横手市

MOVIE



Glossary 用語解説

【②ミドル就農者経営確立支援事業】
国の給付金制度の対象にならない中年層（50歳以上60歳未満）の独立・自営就農者を対象に、就農初期段階の所得安定を図るための資金を交付する事業。



出典：資源エネルギー庁ウェブサイト

【①メタネーション】
水素（H₂）と二酸化炭素（CO₂）から天然ガスの主成分であるメタン（CH₄）を人工的に合成する技術。工場や発電所で排出されたCO₂を分離、回収して利用することで、大気中のCO₂量の増加を実質的に抑えられる。

一般質問

一般質問



たけうちのぶふみ
武内伸文議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 秋田市

人材不足への外国人材活用

Q 県内企業では、人材不足が課題となっているが、外国人材活用についてどのような課題認識を持っているか。また、令和6年6月に開設した外国人材受入サポートセンターに、どのような効果を期待しているか。

A (知事) 県内では、言葉や生活習慣の違いに対する不安や、制度の理解不足などから、積極性に欠ける企業が目立つ。一方、受け入れに向けた環境づくりが喫緊の課題である。

サポートセンターでは、雇用から定着・育成まで、企業への実践的な伴走支援を行うとともに、出前講座やセミナーの開催を通して、企業の意識改革を強く促していく。

森林資源の活用

－カーボン・クレジット市場 (P5③) への参入－

Q 県の森林資源をカーボン・クレジット市場と連動させた場合の売買価格はどのくらいか。今後、自治体や森林組合への支援を強めるべきではないか。

A (知事) 県内全ての民有スギ人工林では年間60億円程度と試算され、このうち、県や市町村等が取り組んでいる事例では年間10億円程度と見込んでいる。

J-クレジット (P5④) の創出拡大に向け、制度の理解を促進し、クレジット取得のノウハウを周知する必要がある。まずは、県や市町村がモデル的に取得し、このような事例を広く紹介するなど、新たに取得を目指す森林所有者の取り組みを支援していく。

MOVIE

録画
映像



一般質問



たかはしけん
高橋健議員

[会 派] 自由民主党
[選挙区] 湯沢市雄勝郡

防災・減災対策

－道の駅の防災機能の強化－

Q 国が令和6年4月、道の駅における高付加価値コンテナ活用ガイドラインを策定したことも踏まえ、県内33か所の道の駅においてコンテナを活用した防災機能の強化を、積極的に進めていくべきではないか。

A (知事) 本県としては、高付加価値コンテナ等の平常時の活用方法等を情報提供するとともに、関係機関の役割分担や道の駅を管理する市町村の意向を踏まえつつ、それぞれの道の駅が有する特徴や地域の創意工夫を生かした取り組みを促していく。

有事に頼れる道の駅となるよう、防災機能を強化していく。

ツキノワグマ対策

－野生動物による被害者への見舞金－

Q 市街地や里山で日常生活を送る中で突然クマの被害に遭われた方には、見舞金を給付してしかるべきではないか。

A (生活環境部長) クマの被害が発生しないよう、^{かんしょうたい}緩衝帯の整備や放任果樹の伐採など、人の生活圏への出没抑制を講じるとともに、ツキノワグマ等情報マップシステム (P5⑥) による出没情報の迅速な伝達や、テレビ・ラジオ等による喚起など、クマと遭遇しないための対策に取り組んでいく。

クマによる人身被害を受けた方は、精神的にも肉体的にも大きなダメージを受けているため、他の自治体の事例も参考にしながら、制度の創設を検討していく。

MOVIE

録画
映像



災害時被害状況調査における 民間企業との連携

Q 民間企業と連携することで、より迅速に被害認定調査や罹災証明書の発行・給付が行われ、早期に生活再建ができるのではないかと。土地家屋調査士会や損害保険会社等と協定を結び、災害に備えるべきではないか。

A (知事) 水害時における保険会社の調査情報の活用について、損害保険会社と協議を進めているほか、既に協定を締結している土地家屋調査士会等とも市町村への支援の在り方を検証し、実効性の高い内容となるよう調整していく。

まずは、市町村と協議・調整しながら、協定の締結先や情報提供のための体制整備などを検討していく。

人口減少対策 ー多様性の尊重ー

Q 少子化対策に前のめりになるあまり、多様性への配慮がおろそかになり、結婚しないことや子どもを産まないことに不寛容な社会を作り出していないか。計画や事業の推進に、多様性条例(P5⑤)の理念をどのように取り入れるのか。

A (知事) 結婚・出産等を強調することで若者が負担に感じるとの意見がある。地域の寛容性などを高めていく中で、自然な形で意識の醸成が図られることが施策を進める上での基本である。

今後も、一人ひとりの多様性が尊重され、県民が安心して暮らし、持続的に発展することができる寛容な社会づくりに十分に配慮しながら、各施策を推進していく。

一般質問



さくら だ ゆ う こ
櫻田 憂子 議員

[会 派] 立憲民主党
[選挙区] 秋田市

MOVIE



Glossary 用語解説

【③カーボン・クレジット市場】

東京証券取引所が令和5年10月に開設した「J-クレジット」を売買の対象とする取引市場。令和6年5月現在、各産業分野の企業や金融機関及び森林整備法人、地方公共団体など278組織が参加している。

【④J-クレジット】

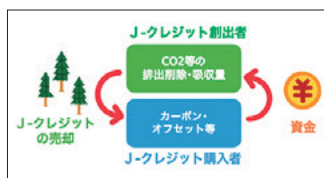
省エネルギー設備の導入、再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を、クレジットとして取引できるような国が認証する制度。

【⑤多様性に満ちた社会づくり基本条例】

あらゆる差別の解消を図り、全ての県民が、個性を尊重し合いながら、多様な文化や価値観を受け入れ、互いに支え合う「多様性に満ちた社会づくり」に関する基本方針を定めた条例。

【⑥ツキノワグマ等情報マップシステム】

市町村等が集約したクマ等の出没情報や人身被害情報を周知する秋田県独自の情報伝達システム。通称「クマダス」。地図上に表示された情報が確認できるほか、登録したメールアドレス等で通知を受け取ることができる。



委員会審査（予算特別委員会分科会審査）

総務 企画 委員会

Q 地域におけるジェンダーギャップ※解消に向けた理解促進事業について、ジェンダー・バイアス※は日常生活や地域に深く関わる課題であるが、どの程度、踏み込んだ事業を想定しているのか。

A まずは、地域や住民の相互理解を深め、個人の行動変容につなげていきたい。具体的には、地域における女性活躍を推進するために、それぞれの地域で身近なテーマをワークショップで取り上げながら、性差による無意識な偏見や思い込みに気付いてもらえる事業にしたい。

※ジェンダーギャップ：男女のちがいにより生じる格差

※ジェンダー・バイアス：男女の役割について固定的な概念を持つこと



辻座長から知事へ提言書を手交

Q 「行政サービスの提供のあり方検討」について、有識者会議からは、「地域振興局については、広域的な視点を持ち抜本的に見直していくことが必要」との提言を受けているが、地域振興局の集約を前提として見直していくのか。

A 県職員数や財政状況から、現状の組織体制を維持することは困難であると認識しており、提言を踏まえ、まずは、地域振興局の個別業務の見直しを進め、今後の方向性を検討していく。

農林 水産 委員会

Q カーボンニュートラルに挑戦する再造林拡大事業について、コンテナ苗生産施設・機械等の整備によって、県内のスギ苗供給量は、どの程度増産できるのか。また、県内の再造林需要に対応できるのか。

A スギの苗木は、年間約200万本を生産しており、今回、新たに3施設を整備することによって、1割増の約20万本の増産が可能となる。これにより、再造林のための苗木は、十分に調達可能となる。



スギのコンテナ苗

Q 再造林の取り組みは、一定の成果が現れているものと認識しているが、県が掲げている目標に対し、令和6年度の見込みはどうか。

A 目標は年度ごとに設定しており、令和6年度は再造林面積675ヘクタール、再造林率47%を目標に取り組んでいる。これまでの事業体からの補助申請や要望を踏まえると、目標は達成できるものと見込んでいる。新秋田元気創造プランの最終年度である令和7年度には、750ヘクタール、50%を目標としており、達成に向けて、取り組みをさらに強化していく。

建設 委員会

Q 成瀬ダムの基本計画の変更に伴い、県の負担もさらに増えるが、財政的な観点から、他の公共事業に影響は生じないのか。

A 今回の計画変更により、県の負担額は約68億円の増加となるものの、抜本的な治水対策や道路事業に加え、他の公共事業も推進していく必要があり、事業効果に鑑みながら、優先順位をつけるなど、適切な予算の確保や執行に努めていく。



成瀬ダム工事現場

Q 秋田県電子入札システムの共同利用に、にかほ市及び五城目町が新たに参加するとの説明であった。他の未加入市町村についても、行政のデジタル化を進めていく上で、全市町村が統一感を持って共同利用するという方向性が重要と考えるが、どうか。

A 今回、新たに加入する2市町は、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、システム改修に係る経費を負担するものであり、未加入の市町村に対しても、活用可能な交付金の利用を促すとともに、共同利用のメリットをPRしながら、加入を働きかけていきたい。

福祉 環境 委員会

Q クマ捕獲のための狩猟者の育成を含め、どのような人材が必要か、ターゲットを明確にすべきではないか。

A 現時点では、人材確保について特定のターゲットは定めていないが、銃器の購入支援だけでなく、狩猟の魅力や必要性を伝えるフォーラムの開催などにより、担い手確保に努めていきたい。



ツキノワグマ

Q 公費によるHPVワクチン※キャッチアップ接種の期間終了が近づいているが、10代後半から20代半ばの対象者に情報を届けるためにはテレビ・新聞広告よりもSNS広告に重点を置いた方がよいのではないか。

A 国の調査では、テレビ広告で知った人が多く、保護者等からも広く情報が届くようマスメディアを活用したい。また、SNS広告も効果的な情報提供ができるよう内容等を検討していきたい。

※HPVワクチン：子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス感染を予防するワクチン

産業 観光 委員会

Q 令和10年秋の開館を目指す新県立体育館の総事業費は、従来手法と比較して、PFI※導入により、どの程度削減されるか。また、社会資本整備総合交付金の実際の交付額が少ない場合、予算の確保に支障はないか。

A PFI導入により、約8億円の削減額が見込まれる。国の社会資本整備総合交付金については、正確な交付額は見通せないため、交付率は12%と低めに算出しており、交付金のさらなる充当もあり得と考えている。



現・県立体育館

※PFI：民間資金・ノウハウを活用する公共事業手法

Q 企業立地・導入促進資金貸付事業について、貸付利率を0.9%に設定し、誘致企業等の工場新增設費用等を長期かつ低利な資金で支援しているが、利用をさらに増やすよう、誘致企業等から要望を聞き取り、より使いやすい制度を構築してはどうか。

A この金利は、他の制度融資よりも低利であるが、貸付先が賃金水準向上計画を策定した場合には、通常の金利よりさらに0.1%低い利率が適用される。誘致交渉の際には、この制度を積極的にPRし、利用促進に努めていく。

教育 公安 委員会

Q 地域の産業において、農業や工業などの職業系専門高校の統合、再編は、各分野の担い手不足に直接影響を及ぼすおそれがあるが、今後、どのような分野の人材育成に力を入れていこうとしているのか。

A どのような人材育成をしていくかについては、市町村、地域のさまざまな立場の方々と協議をしながら、進めていく必要があると考えている。特に地域産業の維持は重要な視点であり、産業人材の育成については、しっかりと取り組んでいきたい。

Q SNS型投資・ロマンス詐欺の被害者には、誰にも相談できないでいる方も多くいると思われる。被害に遭わないための対策や、被害者が相談しやすい環境整備が必要ではないか。

A 令和6年7月からテレビCMで、悩まずに、すぐに家族や知人、警察に相談するよう呼びかけることとしている。引き続き、出前講座等で個人の防御力を高めるとともに、大学や企業での周知など、さまざまな機関の協力を得ながら、社会的な取り組みを進めていきたい。



警察官による出前講座の様子

教育公安委員会

5月28日(火)、29(水)の日程で、次の視察先を訪ねました。

① 横手高校、② 稲川^{いなかわ}支援学校、③ 湯沢警察署、④ 羽後町教育委員会、⑤ 横手警察署、⑥ 近代美術館



横手警察署の視察



近代美術館の視察

産業観光委員会

6月3日(月)、4(火)の日程で、次の視察先を訪ねました。

① 秋田内陸縦貫鉄道株式会社、② 道の駅たかのす、③ 大太鼓^{おおだいこ}の館、④ 株式会社TOMUSHI^{トムシ}、⑤ 小坂まちづくり株式会社、⑥ 株式会社カミテ、⑦ 株式会社かづの観光物産公社



株式会社TOMUSHIの視察



株式会社かづの観光物産公社の視察

総務企画委員会

5月30日（木）、31（金）の日程で、次の視察先を訪ねました。

- ① 阿仁比立内がっこステーション、② NPO法人あき活^{かつら}Lab、③ 株式会社田代製作所、④ 株式会社カミテ、
⑤ 大湯ストーンサークル館、⑥ kemakema



阿仁比立内がっこステーションの視察



kemakemaの視察

農林水産委員会

6月6日（木）、7（金）の日程で、次の視察先を訪ねました。

- ① 農事組合法人塚堀農事生産組合、② JA秋田ふるさと多機能型低温倉庫、③ JA秋田ふるさと平鹿野菜部会、④ Pilz株式会社、⑤ 北日本索道株式会社稲川チップ工場、⑥ 農地中間管理機構関連ほ場、⑦ 関口園芸団地組合園芸メガ団地、⑧ JAこまち新広域集出荷所、⑨ JAこまち花卉部会



農事組合法人塚堀農事生産組合の視察



北日本索道株式会社稲川チップ工場の視察

建設委員会

6月6日（木）、7（金）の日程で、次の視察先を訪ねました。

- ① 太平川（秋田市）、② 秋田港アクセス道路、③ 船川港、④ 国道7号能代地区線形改良、⑤ 日本海沿岸東北自動車道ニツ井今泉道路、⑥ 内川川（五城目町）、⑦ 馬場目川（五城目町）



船川港の視察



内川川の視察

予算特別委員会

Q 新スタジアムの建設地について、秋田市長が八橋地区が有力だと発言したことをどのように受け止めるか。また、新スタジアムの事業主体についてはどのように考えるか。

A 現段階では、市長の個人的な思いと受け止めており、市や市議会が今後どのように判断するか見極める必要がある。市から無理のない計画が示された場合は、歩調を合わせていくべきものと考えている。また、事業主体を決定するに当たっては、広く情報をお示しし、さまざまな課題を議論しながら判断していく必要がある。

MOVIE

録画映像

7月2日 7月3日

令和6年第1回定例会（6月議会）表決状況

議案等	件名 ※下記以外の議案等については全会一致で可決されました。 ※6月議会の本会議における表決状況は右の二次元コードからご覧になれます。	 7月5日	議決月日	議決結果	表決者数	賛成者数	反対者数	自 民				
								高橋 健	武内 伸文	小棚 木政之	高橋 豪	瓜生 望
知事提出	令和6年度秋田県一般会計補正予算（第1号）	 7月5日	7/5	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
	令和6年度秋田県電気事業会計補正予算（第1号）		7/5	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
	成瀬ダム建設に関する基本計画の変更に対する意見について		7/5	原案可決	40	39	1	○	○	○	○	○
請願	物価高騰対策として消費税の見直しと食料品に対する非課税措置を求める請願について	 7月5日	7/5	不採択	40	2	38	×	×	×	×	×
	健康保険証廃止の中止等を求める意見書の提出について		7/5	不採択	40	12	28	×	×	×	×	×

「県議会への意見」募集

「県議会への意見」募集

議会の審議や政策提言の参考にするため、県民の皆さまからご意見を募集します。

テーマ1 教員志望の意欲を高める方策

本県の子どもの学力が高く評価されているのは、教員の指導力に負うところが大きいと考えられるが、教員志望者は減少している。どのようにすれば若者が教員を目指す意欲を高めることができるのか。

テーマ2 ヤングケアラーの支援施策

ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことである。こうしたヤングケアラーを支援するためには、どのようなことが必要と考えるか。

テーマ3 就学前の育児・教育

小学校入学までの育児や教育の仕方が分からないなど、子育ての実際の状況や悩みなどをお寄せください。

テーマ4 防災・減災対策

令和5年7月、本県は大雨に見舞われ、秋田市など県内各地で大きな被害が発生した。この大雨の検証を踏まえ、今後どのような対策を行うべきか。

テーマ5 不登校の子どもの学びの保障をすすめるには

不登校児童生徒数は増加しているが、不登校対策については、どのような方針や施策を定めるべきか。

テーマ6 移住者から見た「秋田の良いところ・変えたいところ」

移住者から見て秋田は住みよいところなのか。もし、変えるとすれば、どのようなところを変えればよいと考えるか。

テーマ7 秋田県の学習状況調査

県独自の学習状況調査により、児童生徒・教職員に負担が生じていると考えられる。児童生徒の長期欠席の一因となっているおそれもある。県独自の学習状況調査の実施についてどう考えるか。

テーマ8 気候危機を打開していくための取り組み

地球温暖化の影響により自然災害が増加・激化し、集中豪雨や大雪など重大な被害が発生している。このような気候危機打開のために、どのようなことに取り組んでいるか。また、県にはどのようなことを望むか。

募集期間

- 令和6年8月19日(月)まで(当日消印有効)

必要記載事項

- タイトル:「県議会への意見」
- 住所、氏名、年代(10代、20代など)

提出方法

- ①郵送…〒010-8570(当日消印有効)
秋田市山王四丁目1番1号 秋田県議会事務局 政務調査課
- ②ファックス…018-860-2108
- ③メール…kengikai@mail2.pref.akita.jp
- ④秋田県議会ウェブサイト…「県議会へのご意見」
URL:https://pref.akita.gsl-service.net/

留意事項

- 頂いたご意見は、個人情報伏せて全議員に回覧するほか、居住地や年代を示した上で広報紙やウェブサイトでご紹介する場合があります。(掲載例:秋田市・50代、湯沢市・70代)
- 掲載に際しては、編集・省略する場合がありますが、第三者が著作権等の権利を有している著作物等(例:新聞紙面の写し、テレビ番組の画像、書籍、地図等)が含まれる場合、意見全体や該当箇所を掲載できない場合があります。

自民:自由民主党 みらい:みらい 立民:立憲民主党 社民:社会民主党 つなぐ会:次の世代につなぐ会 共産:日本共産党 公明:公明党 きらり:きらり
賛否欄 「○」:賛成 「×」:反対 「議」:議長 「欠」:欠席

自 民																					みらい				立民				社民	つなぐ会	共産	公明	きらり			
島田 薫	宇佐見 康人	住谷 達	児玉 政明	小山 緑郎	小野 一彦	鈴木 真実	佐々木 雄太	杉本 俊比古	鈴木 健太	佐藤 信喜	今川 雄策	高橋 武浩	北林 文正	竹下 博英	原 幸子	工藤 嘉範	加藤 鉦一	柴田 正敏	川口 一	鶴田 有司	鈴木 洋一	山形 健二	佐藤 正一郎	三浦 茂人	渡部 英治	三浦 英一	櫻田 曼子	薄井 司	小原 正晃	石田 寛	加藤 麻里	沼谷 純	加賀屋 千鶴子	松田 豊臣	佐藤 光子	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

秋田県議会永年在職議員表彰

6月12日に開催された本会議において、川口一議員(写真右)が、永年(25年)在職議員として表彰されました。



表敬訪問

6月12日、王根華中華人民共和国駐札幌総領事(写真左)が、北林議長を表敬訪問しました。中国と秋田県のこれまでの交流状況や今後の交流拡大などについて、意見交換しました。



令和6年第1回定例会〔6月議会〕

■期間 6月12日～7月5日(24日間)

●議案の議決状況

知事提出議案

■予算 可決 8件

- ◆令和6年度秋田県一般会計補正予算(第1号)
34億5,127万円
ほか補正予算7件

■人事 同意 2件

- ◆秋田県収用委員会の委員及び予備委員の任命について
- ◆秋田県公安委員会の委員の任命について

■条例 可決 6件

- ◆秋田県県税条例等の一部を改正する条例案
ほか5件

■その他 可決 15件

- ◆成瀬ダムの建設に関する基本計画の変更に対する意見について

ほか14件

委員会提出議案

■条例 可決 1件

- ◆秋田県議会委員会条例の一部を改正する条例案

■規則 可決 1件

- ◆秋田県議会会議規則の一部を改正する規則案

テレビ広報「県議会のしおり」

奇数月の最終土曜日に、AKT秋田テレビで15時から放送。次回は7月27日(土)。議員紹介やインタビューを交えながら、県議会の様子をお伝えします。放送後はYouTubeでも配信しますので、ぜひご覧ください。



ソーシャルメディア

フォロー・チャンネル登録をお願いします。



請願・陳情

令和6年7月12日(金)から、請願、陳情の電子メールによる提出が可能になりました。



議会開催予定

令和6年第2回定例会(9月議会)
令和6年9月9日(月)～10月4日(金)

※現時点での予定です。変更となる場合は、秋田県議会ウェブサイトでお知らせします。